

研修名 保育内容研修7（幼児教育）

平成27年10月23日（金）10:00～12:30

講演 「遊びの場面における保育者の問いかけ

～遊びの楽しさと子どもの育ちの保障～」

講師 榎本 眞実 氏



## 1 講演要旨

### 1) 保育における「遊び」

- ① 遊びとは、子どもが育つ一番の原動力。
- ② 充実感・思考力・想像力・満足感・達成感・葛藤・友達と協力すること。環境にかかわろうとする意欲や態度・かかわり方。
- ③ 子どもの主体としての思いや願いを受け止めること。

### 2) 遊びとは、子どもの「生きる力」（確かな学力・豊かな人間性・健康と体力）を育んでいくものである。

### 3) 夢中になって遊ぶことが大切である。一人で夢中になっていると、周りの子が寄ってくる。子どもの自己目的を実現するために、保育者の援助が必要である。

### 4) その子が何をしたいのか、持っている目的を実現できるように援助する。（今、経験させたいこと、次に経験させたいことを考えるようにする。）

### 5) 子どもへの問いかけについて

- ① 「何してるの？」と問いかけて、答えが返ってこなかった時、言葉を変えて問いかけること。（何回も同じ問いかけをすると、追い込まれてしまうので、言葉を足しながら問いかけをする。）
- ② 教師発信の問いかけから、子どもの答えを受け止め、それを糸口としながら問いかけを重ねることで、対話的なやりとりが成立する。

## 2 感想

子どもたちにとって、遊びは勉強です。保育者たちは環境づくりをしたり、言葉がけ（問いかけ）をしなければいけません。でも一番大切なことは、子どもたちと一緒に同じ目線で遊ぶことだと思います。かかわりの中で、遊びが広がっていき、信頼関係もできます。子どもたちが夢中になって遊べるような環境づくりをしていき、子どもたちの遊びを見守っていきたいと思います。



（記録 久御山町立佐山保育所 庄司 幸恵）